



どのくらい 病気で おやすみしたでしょうか？！

☆今年度も残り少なくなりました…

昨年の入園、進級のころを思い起こし、子どもたち一人ひとりの表情、行動に改めて大きな成長を実感しています。体はもちろん、思いやる心や周囲への観察力など感心します。お家の方々は毎日の繰り返して気付かないかもしれませんが、子ども達の出来る事を見つめて、大いに褒めてあげて欲しいと思います。みんな元気に新年度を迎えられますように。今年度も感染症がいろいろありましたが、ご協力いただきありがとうございました。

1年間のふりかえり

- 春** 5月 感染性胃腸炎(0~1歳)で流行 お腹のカゼで保育園新入園の子が高熱や咳、下痢とかわいそうでした！
5月末 幼児(3~5歳)では、溶連菌感染症の子が数人出ました。お薬をきちんと飲み終えても再発感染していました。
- 夏** 7月 手足口病流行；口内炎が酷くなる型で、年長児でも食物がはいらずお休みが長引いてしまうケースも。
8月 再び手足口病発症；型違いウイルスで大きな水ぼうが手足にぼこぼこ出て、二度もかかってしまう児もいました。
8月中旬 夏風邪急性発疹症で全身に小さな発赤疹が出る子が出ていました。

秋 9月

ぜん息体質の児の咳や咳カゼで熱発する風邪の流行 RSウイルス感染症を疑いました。

10月

エンテロウイルスによる咳風邪？
乳児で咳風邪流行

冬 11月

おたふくかぜ(流行性耳下腺炎)が幼児で発症、症状が現れる数日前から感染力があり潜伏期間が3週間近くあり、年末年始にかけて幼児で6名、乳児で4名 ※全国的な流行情報もありました。

12月~1月

乳児1才で下痢症状が流行、ロタウイルス効果か重症化していません。

3月に入りお休み中に幼児(3歳)でインフルエンザB1名・インフルエンザA1名にかかったという連絡がありました。

花粉症で困っていたら…花粉は顔についた後に、眼の中や鼻の中の粘膜につきます。洗い流すのは最低限ですが、顔、目の周り、鼻の入口にワセリンを塗る事で花粉が付着して粘膜に触れる事が少なくなり即効性があるようです。※ワセリンは軟膏の基です。

☆年間の病気欠席日数 <グループ別1人平均>27年4月 ~ 28年2月

ひまわり 0歳 (12人)	はな 1歳 (18人)	ぞら 2歳 (22人)	みどり 3歳 (18人)	のぞみ 4歳 (20人)	ひかり 5歳 (22人)
18日	14日	8日	10日	6日	5日
最少3日 (1人)	最少7日 (1人)	最少2日 (2人)	最少4日 (1人)	最少0日 (1人)	最少0日 (3人)

★今年度の病気欠席の統計から、グループ別に1年間に病気でお休みされた日数の平均数です。今年度は、幼児でおたふくかぜの流行があったため、年間病欠日数が多くなっています。{ご家庭の都合でお休みされた場合は含んでいません}0歳や1歳ではお休みすることが多くなりますが、1年ごとに免疫を獲得して丈夫に成長していきます。それを期待して…

年長ひかりグループ保護者のみなさんへ

☆小学校への入学は大きな環境の変化です。初めてのことが一杯の中で驚いたり戸惑ったり、子供によっては馴染めないかもしれませんよね。そんな時の参考になる新刊本『7歳からは、見つめて、待って、ちょっと話す』認定心理士で保育士でもある中垣俊子氏の著書です。〈PHP 研究所出版〉
◇『しない』をしてあげる！…赤ちゃんから今までは子供になんと沢山の事をしてきてあげたことでしょう。幼児になっても多くの場面で大人の手助けが欠かせませんでした。◇これからは『しない』子育てへ…大人がしない事で自分で考える、自分で工夫する、人と協力するなど自分で選ぶことを学びます。“できた”という自己効力感が育ちます。そのためには、“やってあげる”“教えてあげる”などをちょっと待って、子ども自身で試したりする時間を作ってあげる必要があります。自分でできたという体験が積み重なり意欲を高めることにつながると思います。

『待つ』事は子供を成長させ自信を付けさせるという事です！是非、本『7歳からは、見つめて、待って、ちょっと話す』を手にとってはいかがですか！